

# 環境活動レポート

平成21年度

株式会社橋本清文堂

# 環境方針

## 基本理念

当社は、環境への取り組みを最重要課題として、全社一丸となって環境に配慮した事業活動に取り組み、環境負荷を継続的に削減していきます。

## 基本方針

当社の環境方針は以下の通りとする。

- 電気等のエネルギーの効率的使用に努めます。
- 印刷物製造において、原材料の効率的な使用と、無駄の削減に努めます。
- 購入する原資材(用紙・インキ等)は、できる限りエコ製品を使用し、環境負荷低減に努めます。
- 廃棄する紙は、段階により分別しリサイクルに努めます。また、一般ゴミの分別を徹底します。
- 環境関連法規を遵守します。

## 情報公開

この環境方針は当社のホームページ等で公開を行い、当社の環境に対する姿勢を広く内外に示します。

## 教育

この方針は、全社員に周知するとともに、地域社会への貢献に努め、環境保護の啓発、教育を実施する。

平成22年3月1日  
株式会社 橋本清文堂  
代表取締役社長 橋本 修一

## 1.事業活動の概要

### (1)事業者名及び代表者名

株式会社 橋本清文堂

代表取締役社長 橋本 修一

### (2)所在地

石川県金沢市示野町南51番地

### (3)環境保全関係の責任者及び担当者

責任者 代表取締役社長 橋本 修一

担当者 営業部 坂井 大輔

### (4)事業内容

帳票類・事務用印刷物の製造、販売

一般印刷物(広報、業務用印刷物)の企画・制作及び製造、販売

## 2.環境目標とその実績

### (1)環境目標

①二酸化炭素排出量 ( 91,000kg-CO<sub>2</sub> )

②産業廃棄物排出量 ( 400kg )

③紙類排出量 ( 21,000kg )

④水使用量 ( 600m<sup>3</sup> )

⑤電気使用量 ( 120,000Kwh )

### ○ 二酸化炭素排出量

(kg-CO<sub>2</sub>)

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
温室ガス排出量 (目標)	92,000	91,000	91,000
温室ガス排出量 (実績)	92,087	84,650	-

### ○ 廃棄物排出量

(kg)

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
産業廃棄物 (目標)	21,400	21,200	21,000
産業廃棄物 (実績)	19,687	14,293	-

○ 紙類排出量

(kg)

項 目	平成21年度	平成22年度	平成23年度
紙類排出量（目標）	21,000	21,000	21,000
紙類排出量（実績）	19,170	-	-

○ 水使用量

(M<sup>3</sup>)

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
水使用量（目標）	486.0	486.0	486.0
水使用量（実績）	606.4	385.8	-

○ 電気使用量

(kwh)

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
使用電力量（目標）	119,000	118,500	120,000
使用電力量（実績）	121,792	115,905	-

3.環境活動の取組み結果と評価

(1) 二酸化炭素排出量増減の主な理由

二酸化炭素排出量は目標を 6,350kg-CO<sub>2</sub>(7%) 下回り好調に推移した。しかしながら今期は景気の影響も受け業績が悪化しており目標が狂った感がある。改善として原単価をベースに売上高当たりの指標を設定する必要があると思われる。

今期は、工場での契約デマンド内に制御するために空調電源の ON OFF 管理や、グリーン購入の推進、生産性の改善、を事務所を中心に計画し結果が出てきていると思われる。

(2) 廃棄物排出量増減の主な理由

紙類排出量は目標に1,830kg(8%) 下回った。これは工場での用紙の取り無駄の削減や予備紙過剰の削減が結果に出てきてる。今後は、歩留まり率の改善活動に期待したい。

その他産業廃棄物は 6,907kg の削減ができた。ほぼ金属類はリサイクル化が実現し、廃液やインキの残肉・糊カス等削減の取組みその形が結果に出ている。

(3) 水使用量増減の主な理由

水使用量は目標に対して100.2m<sup>3</sup>(20%)減少した。前年度の印刷機の水使用量のデータが印刷における水の使用の改善に大きな要因になっている。また社内の植栽の散水や冬季の雪の量があまり多くなかった事などもある。